

## 【地域振興施策】

### 1) 当所、地域振興事業並びに地域団体に対する支援、助成

- ・当所の一般普及事業に対する補助金の継続補助をされたい。
- ・美濃加茂市商店街連合会に対する継続的補助及び支援をされたい。
- ・美濃加茂市ポイントカード会に対する今後の運営について、地域内で広範囲に利用可能なデジタル通貨への移行など行政として支援、指導を実施されたい。

### 2) 中心市街地の活性化

- ・中心市街地活性化については、波及効果の高い複合商業施設等の整備や、商店街における先進的なチャレンジを促し、地域で必要とされる商店街機能を促進されたい。
- ・美濃太田駅周辺整備について市の玄関口にふさわしい新しい機能を持ったまちづくりを目指されたい。
- ・美濃太田駅周辺整備基本構想における駅南通りについて、サブリース事業（不動産の所有と利用の分離）などによる店舗活用を検討され、魅力をもったエリアへの再生を進められたい。

### 3) おん祭みのかも夏・秋の陣及び市民まつり等イベント関連

- ・2年連続、開催中止となったおん祭みのかも夏の陣・秋の陣や市民まつり、及びみのかもハーフマラソン大会等の市を代表する地域振興イベントには一昨年度と同等以上の補助を支援されたい。
- ・市民まつり等の地域振興イベントやまつりについては、小規模事業者の支援として波及効果を高め、コロナの影響を受けた事業者の支援も含めて販路拡大など具体的な成果につながる内容となるようされたい。
- ・「みのかもハーフマラソン大会」について、第17回目に向け、引き続き万全な開催を図られたい。

## 【商工業並びに産業振興】

### 1) 産業振興の展開（SDGs 関連含む）

- ・第6次総合計画の掲げる「Walkable City Minokamo」、「ローカルSDGs みのかも」の実現に向け、「みのかもSDGs 推進協議会」により新たな産業振興、創業支援などの地域経済活性化に官民が一体となり事業促進に取り組んでいただきたい。
- ・ソーシャルビジネス地域事業体（まちづくり会社）について、早期に収益性が確保できる仕組みを構築されたい。
- ・まちづくり提案システムについては、市・推進協議会と市民・市内事業者

間で双方向に情報の受発信、共有が図られる仕組みを構築されたい。

- ・SDGs推進協議会をはじめ市民・市内事業者から、ソーシャルビジネスのアイデアを広く募り、その事業化に向けて検討されたい。
- ・ESG金融形成協議会を通じて、ソーシャルビジネスに対する融資利子補給制度を構築されたい。
- ・SDGsに取り組む市内事業者のネットワークを構築され、SDGsに関する情報提供、及び事業者向けのセミナーなどを開催され事業者のサステイナビリティ（持続可能性）とイノベーション（革新）が創出されるよう進められたい。
- ・市内での起業をより一層促進させるため、創業運醸成事業、ビジネスプランコンテストなどを継続され、引き続き当所及び姫BIZと連携し、事業促進をされたい。
- ・市内事業者へDX（デジタルトランスフォーメーション）の取り組みを推進し、当所や姫Bizなどの支援機関と連携し、事業を展開されたい。
- ・当所の「経営発達支援計画」についても連携し、実行支援に関して協力されたい。
- ・ビジネスフェア及びジョブフェア等の出展事業に引き続き支援をされたい。
- ・市内中小企業者と進出大手企業との商取引を目的にした商談会等、持続可能な関係を築くため具体的に展開されたい。
- ・市内事業所を対象とした景気動向の把握をし、地域経済分析システムRESAS等を活用し、市として域内の消費行動や産業構造の分析や変化・推移等のデータ整備を早急に図られたい。

## 2) 新型コロナウイルス感染症に対する支援強化

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収まらない中、中小・小規模事業者においては、事業継続に深刻な状況にある。ウィズ・ポストコロナに対応した美濃加茂市独自の支援制度を更に継続・拡充され、長期的な支援を実施されたい。
- ・ワクチン接種については、加速化し、適切な情報の提供・普及に引き続き努めていただきたい。特に外国人や外国人を雇用する事業者への周知徹底を図られたい。また、今後3回目の接種については当所と連携し事業者向けの共同職域接種の実施を検討されたい。
- ・ワクチン接種済みの方を対象としたワクチン優待を事業者支援に繋がる目的で経済支援対策を検討されたい。
- ・感染拡大防止対策に徹底し、安心して利用可能な店舗や事業所を支援するため、感染防止対策にかかる機器の購入費、改装改修費用、業務委託費、消耗品費などの経費の一部を支援・助成する「あんしん助成金」を引き続き実施されたい。
- ・先得みのかも応援チケット事業について、再び飲食業・観光・宿泊業、小売業、サービス業も含めて引き続き、実施されたい。
- ・ウィズ・ポストコロナを見据えて、出口戦略的な支援として、市内の幅広い業種の中小・小規模事業者を対象としたプレミアム付き商品券事業（先得みのかも応援チケット事業含む）を実施されたい。
- ・今年度、取り組んだ「アフターコロナ 先得みのかもチャレンジ事業者応援助

成金」について、意欲的に取り組む事業者を支援するため、引き続き実施されたい。

- ・事業所に感染者が発生した場合、企業としての行動指針や消毒方法、清掃委託事業者などの情報をマニュアル化し、事業者の事業継続力強化計画（BCP）の策定など支援促進されたい。
- ・ウィズ・ポストコロナに対応する、中・小規模企業が導入するテレワークやワーケーションなどの新しいワークスタイルやIT化・デジタル化への対応支援として導入にかかる経費や施設、オフィスの設置を促進する補助制度を設置されたい。

### 3) 地域資源、美濃加茂ブランド等の取組み

- ・地域資源、特産品等の開発、販路開拓については行政のみで取り組む事例が見られるので、当所と連携し情報共有を図り、実施されたい。
- ・美濃加茂ブランドについて推奨認定制度の仕組みや機能を改善され、積極的に取り組むとともに首都圏や都市部に販路開拓を支援する仕組みに加え地域内で循環させる仕組みを確立されたい。
- ・HACCP制度について令和3年6月より食品製造業者や加工事業者、飲食店などのすべての食品を取り扱う事業者への導入の完全義務化となりました。HACCP申請及び取得する事業者へ衛生管理の導入やコロナ感染対策にかかる経費の補助金等の支援施策を検討されたい。

### 4) あい愛バス等、交通システムの取組み

- ・あい愛バスの運行改正後の利用状況を詳細に分析し、利用者にとってより利便性の向上が図られるよう随時運行状況の把握をされ充実されたい。
- ・現在、東京新宿駅までの区間で小田急電鉄バスや東濃鉄道バスなどの運行がなされているが、美濃加茂市での停留所として美濃太田駅でも乗降出来るように引き続き関係事業者へ要望されたい。
- ・名古屋都市部と当市の間で乗り継ぎが無く、高速バスで直接往来が出来るよう引き続き関係事業者へ要望していただきたい。

### 5) 空き家・空き店舗に対する取組み

- ・空き店舗、空き家について、県移住支援事業・マッチング支援事業を積極的に促進させ、利用希望者の発掘と周知を引き続き推進されたい。
- ・空き家等の取り壊し費用の助成や、取り壊し後の土地の固定資産税を軽減する制度を創設されたい。

### 6) 当所、会員事業所のビジネス創出機会に対する取組み

- ・行政の発注等について、市内会員事業者を優先的に活用されたい。

## 【建設事業関連】

### 1) 美濃加茂市発注入札関係

- ・美濃加茂市発注の工事は、引き続き美濃加茂商工会議所会員の地元業者に発注していただきたい。
- ・最近の労働者不足、資材の調達事情を考慮した早期発注、ゆとりのある工期設定としていただきたい。
- ・小規模工事の採用単価は見積徴収を基本としていただきたい。
- ・少量の場合の単価は建設物価による単価ではなく、市場単価にて計上されたい。
- ・小規模工事または、取替工事などの書類は着工、完成程度で大幅に削減されたい。
- ・入札前の設計時に設計内容を精査されたい。入札時の設計数量は、必ず公開されたい。
- ・現場の状況と設計図の食い違いが時々あるので、市職員立ち合いのもと、設計照査を行っていただきたい。
- ・水道メーターの交換業務は美濃加茂市上下水道協同組合に発注されたい。
- ・空調設備工事の入札時には、電気設備工事の業者も入札業者としていただきたい。
- ・美濃加茂市の新庁舎建設に関しては、地元事業者を優先指定していただきたい。
- ・仮設工事における積算において設計事務所の算出根拠を明確にして足場の組替えなどがわかるようにしていただきたい。
- ・現場状況にあった柔軟な設計変更をしていただきたい。
- ・設計時段階の見積徴収については市内業者を優先されたい。
- ・交通誘導員の配置人数及び日数を明確にされたい。また、市場単価を適正に把握し、随時単価の見直しをされたい。
- ・国の方針である働き方改革に則って工事期間を設定されたい。また、それによる経費について工期に応じた経費率の計上をされたい。
- ・少額工事の工事書類、工事写真を簡素化していただきたい。
- ・各課によって提出書類等の様式が異なるので統一されたい。
- ・農振地域除外の定義については、地域の状況を加味し、柔軟に対応いただきたい。
- ・建設業における工事成績優良企業や担当技術者の表彰制度など設け、若年技術者のモチベーションややりがいを促進されたい。

### 2) 助成金関係

- ・住宅工事等補助金制度（住宅リフォームの助成）の周知を広く積極的に周知し、来年度以降も継続されたい。また助成額について上限額を20万円への引き上げや、2回目以降の申請も可能としていただきたい。

## 【企業誘致・立地】

### 1) 企業立地に対する取り組み

- ・新たな工業団地の建設を計画し、内需型企業の誘致を図られたい。併せて住宅地との棲み分けをはっきりと区別し、進出した企業が安心して稼働できるよう造成されたい。
- ・新たな密度の高い商業集積地の充実、拡充を図られたい
- ・企業誘致条例の奨励金制度による対象事業所の業種について日本標準産業分類における商工業者すべてを対象とされたい。
- ・工業団地を始め、市内への新規進出企業の情報並びに製造業や関連する産業の施策やインフラ整備について速やかに情報提供されたい。また新規進出企業には当所会員加入の紹介を図っていただきたい。
- ・新たな企業誘致としてテレワーク、ワーケーションなどサテライトオフィスとしての機能を持った企業や団体を誘致されたい。

## 【観光振興】

### 1) 観光拠点の整備と取り組み

- ・コロナ終息後のインバウンド需要を見据え、観光産業の機能改善を図る上で、市としての観光ビジョンを具体的に実行できるよう、観光施策を講じていただきたい。また観光施策においては、観光関連事業者のみならず、市内の様々な業種の地域事業者、団体等が取り組めるよう連携を強化されたい。
- ・コロナ終息後の観光需要に対し、JR美濃太田駅で下車を促すようアピールすると共に、市内にて滞在、宿泊して頂けるよう、JRや長良川鉄道と連携し、観光施策を講じていただきたい。
- ・ぎふ清流里山公園、リバーポートパーク、健康の森などのアウトドア関連施設を活用し、アウトドアレジャーの観光拠点として広くPRされたい。
- ・工業や観光資源を通じて交流人口、関係人口の増加を図り、外部資金獲得のみならず域内還流促進を推進されたい。
- ・市の公用車やあい愛バスなどに「中山道太田宿」「堂上蜂屋柿」などの美濃加茂の地域資源や企業広告等の看板を取付けて美濃加茂ブランドをPRをされたい。
- ・中山道界隈の修景・整備とともに、中山道太田宿のブランド力向上を図られたい。

## 【都市間交流】

### 1) 海外都市との連携、交流

- ・ダボ市以外で、高度でグローバルな人材や産業育成、経済や観光文化の交流を目的とした国外の先進都市との友好提携都市の確立をされたい。

### 2) 国内市町村との連携、交流

- ・特産品の開発や販路拡大を目的とした国内の市町村との交流連携を図り、市内事業者も巻き込んで展開されたい。

## 【小規模企業の経営支援】

### 1) 小規模企業支援の拡充

- ・当所、経営改善普及事業への補助金と若手後継者育成指導事業として青年部、女性会への活動助成支援の安定的な継続支援をされたい。
- ・地域経済を支える小規模企業を地域で育てるための、小規模企業振興に資する条例・計画を商工会議所の役割を明記し制定されたい。それにより、市と商工会議所が課題や方針を共有し、互いのリソースを補完する連携関係を構築されたい。
- ・創業者及び小規模事業者への支援として、現在の姫BIZセンター業務を当所が持つ経営支援機能と協力連携し、積極的に運営されたい。また、よろず支援拠点サテライトオフィスについても積極的な周知を行い、利用を促進されたい。
- ・事業者高齢化に伴う廃業が多く、事業所減少の歯止めが掛けられない。市として開業率並びに廃業率を把握すると共に、事業所減少に歯止めを掛けられるような市独自の事業承継支援について当所と連携し検討されたい。

### 2) 金融支援の継続

- ・事業活性化利子補助金制度は来年度以降も継続されたい。

## 【労働雇用対策】

### 1) 人材、人手不足に対する支援

- ・地域企業の人手不足について、美濃加茂市の大きな課題として捉え、当所と連携し、共有しながら地域企業へ支援されたい。

- ・人口増加の施策として、Uターン・Iターンでの大学生等の若年者就労に対して、積極的に市内の企業への雇用拡大を促進させ、就職者及び受け入れ先企業などへの雇用対策を支援されたい。
- ・高校生向けの企業参観、工場見学会や企業説明会について具体的な開催を当所と連携し実施されたい。また高校生を対象にしたジョブインターンシップ事業を当所と連携し、再び実施されたい。
- ・生産年齢人口（15～64歳）の減少、人材不足の解消、雇用増対策について企業誘致における進出企業だけに頼ることなく、地域の中小企業に若者、女性が魅力溢れ、喜んで働ける職場、環境作りを促進するよう市内中小企業者を把握し、特に女性の社会進出しやすい環境と就労支援施策を引き続き講じていただきたい。
- ・中小零細企業において、特に若年者の人材養成は養成を行なう人員の確保や経費の負担は多くあり、優秀な人材の養成に積極的に取り組めるように支援策を検討されたい。

## 【環境施策】

### 1) 新エネルギー促進、環境整備

- ・新エネルギーや省エネルギーの活用推進を促進し、企業の経費削減と環境保全を推進するための助成金等優遇措置を創設されたい。
- ・旧可茂聖苑跡地で進められている木質バイオマス発電施設について、地域産業の活性化となるよう関係者と調整し推進されたい。
- ・地域におけるバイオマス燃料確保のため、地元の産業振興に資するよう発電の排熱利用についても検討されたい。
- ・市内の市民や事業者が電力の消費に伴うCO<sub>2</sub>排出実質ゼロを達成するため、国の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金の活用を検討されたい。
- ・市内の住宅や事業所・工場など建築物の省エネ性能等の向上のためのZEB化、ZEH化に対しての補助制度を創設されたい。
- ・製造業者にとり脱炭素社会（カーボンニュートラル）への対応は大きな課題であり取り組みに向けた指導・支援等（どのような事から取り組んだら良いのか、事例紹介等のセミナー）を行っていただきたい。

## 【安全・安心のまちづくり】

### 1) 災害に強く、事故のないまちづくり

- ・緊急災害等発生時における商工業者の早期復旧にかかる支援施策の策定。最近の異常気象に伴う、地震や台風、豪雨、竜巻などの自然災害の発生時において商工業者が早期に復旧・復興がなされるよう復興支援施策の策定と事業所での水、電力の確保など支援措置の創設を検討されたい。
- ・地域の商工業者は地域密着型で事業をされており市民の生活に大きく関与

している。災害発生後、市民への復旧支援のためにも地域の商工業者の被災状況を迅速に把握し、事業活動をいち早く再開できるよう商工業者への復旧支援、事業継続力強化計画（BCP）を策定に支援されたい。

- ・小規模事業者支援法に関わる事業継続力強化支援計画の策定について、当所と共同にて作成されたい。また、「地域の災害リスク」や「商工業者の状況」など、当所で把握していない項目について情報を共有されたい。
- ・災害時に商工業者が事業活動を継続できるよう防災・被災用として必要となる備品の購入にかかる補助金制度を創設されたい。
- ・台風などの水害や災害において被害が出ないように、加茂川改修や加茂川の浸水対策、堤防の整備、地下遊水池（地下ダム）などの整備について引き続き継続されたい。

## 2) 街・道路・交通網の安心

- ・人にやさしいまちづくりのため、安全を確保できる交差点改良や十分な幅等の歩道の整備を引き続きされたい
- ・小、中学生の通学路（登下校）での多発事故に対して、安全対策に引き続き努めていただきたい。
- ・市内において交差点や公共施設への防犯カメラの設置を増設されたが、更に増設されたい。
- ・商店街等の交差点に見受けられる鳥のフン害に対し、再度、有効な対策を関係事業者と協議されたい。駅前地元住民や事業所による自主的な清掃活動についてクリーンパートナー団体により行われているが、交差点や道路など危険を伴う箇所においては専門業者や道路管理者と連携し、行っていただきたい。
- ・JR美濃太田駅北口のロータリーは時間帯により送り迎えの車が多く、車の待機スペースが少ないため、非常に混み合うなど事故の危険性が高いので安全な対策を再度検討されたい。

## 3) 外国人向け環境・教育整備の安心

- ・市内在住の外国人や外国人来訪者等にも分かる公共施設や観光施設、商店街、美濃太田駅、商工会議所、駐車場等案内看板の整備と多言語表記への対応を更に進められたい。

# 【市内各地区からの要望事項】

## 1) 太田町・下古井地区

- ・市のコロナ関連対策について、各種助成金など来年度以降も継続して実施していただきたい。
- ・国が実施するものづくり補助金、小規模事業者持続化補助金、IT導入補助金などの交付を受けた事業者に対し、自己負担額の一部を補助していただきたい。



- ・おん祭 MINOKAMO 夏の陣・秋の陣について、ウィズ・ポストコロナを見据えた在り方、実施方法を地域活性化にどのように繋げていくか再度検討していただきたい。
- ・新庁舎整備基本計画について、駅前周辺における中心市街地が活性化され、その波及効果が商店街、中山道界隈にも現れるよう、取り組んでいただきたい。
- ・中山道会館とリバーポートパークを連携した地域資源の有効的な活用を実施されたい。
- ・自然災害や景観保全の観点から中山道の電柱の地中化を検討していただきたい。
- ・商店街協同施設等補助金事業において街路灯は防犯灯の役割も果たすので街路灯設置にかかる設置費用と電気料金について全額補助あるいは補助率のアップを図っていただきたい。
- ・道路整備について国道21号線の可児市から美濃加茂市に向かう新太田橋を渡ったすぐの高架の4車線化を実現されたい。
- ・駅前通り（十六銀行交差点より南）の歩道の表面の小さな石がよく剥がれ道路や歩道に散乱するので修繕されたい。
- ・中山道の通学路の色分け部分で薄くなってきている箇所があるので、修繕されたい。
- ・駅前通りの街路灯について年期が経っているのもので根本等の点検を行っていただきたい。
- ・木曾川の堤防において堤防手すり下のモザイクタイルが所々で剥がれており、景観的に不備であるため、修理していただきたい。
- ・木曾川沿い堤防において、凹凸の箇所が目立っており、ランニングやウォーキングをする方が多いので安全安心な舗装・修繕をしていただきたい。

## 2) 加茂野・前平・西町地区

- ・豪雨時、市道（旧248号線）沿いの側溝から水が溢れ、川の様になる。特にホワイトハウス（喫茶店）辺りは酷いので、道路及び側溝の改修を実施されたい。また、市道に変わってから道路脇の草刈りがされていないように感ずるので、草刈りなどの整備を施されたい。
- ・災害時における避難所（あまちの森など）についてコロナ感染拡大防止の影響で収容人数等限定されると考えられる。各避難所の収容人数を公表されたい。
- ・リサイクル回収について加茂野地区には常にリサイクル物（ペットボトル等）の回収スペースが無いのであまちの森などに設置されたい。

## 3) 上古井・山之上地区

- ・新型コロナウイルス感染症による経済への打撃は大きく、長きにわたり影響があると予見されるため、コロナ対策を拡充されたい。
- ・日本政策金融公庫の新型コロナウイルス感染症特別貸付にかかる特別利子補給制度は3年間となっている、感染拡大収束が見通せない中、事業者の資金繰りも厳しさが増しており、3年間の利子補給終了後において美濃加茂市の利子補給制度の運用により利子補給を実施されたい。

- ・「美濃加茂市空き店舗活用事業補助金制度」の運用について、補助対象区域をさらに拡充していただきたい。事業承継の場合は、補助額を増額していただきたい。

#### 4) 蜂屋地区

- ・自治体SDGsモデル事業に選定されたことにより、全国に先立つ取組であり、市民との共通認識が必要と思われ、具体的な計画を示していただきたい。
- ・コロナ禍において情報の停滞が心配である。新庁舎整備基本計画など生活に直結する情報は、紙媒体でもよいので発信していただきたい。
- ・コロナ禍で子供たちへの影響が心配である、親の収入が減り食事が満足にできない子供や勉強が思うようにできないことと学校行事がなくなりストレスを抱える子供が多くいる。子ども食堂など活動する個人の方も見えるが、市全体で支援する取組みを行っていただきたい。
- ・中蜂屋工業団地内、蜂屋台1丁目の交差点において学生の通学路となっている為、安全な交差点として信号機の設置を検討されたい。

#### 5) 伊深地区

- ・新型コロナウイルス感染症による行動規制、自粛等の影響で市内事業者の売上は大きく減少しており、深刻な事態である。この状況が収束するまでには相当な時間を要すると考えられ、多くの事業者が事業継続に困難になる。飲食業だけではなく市内の幅広い業種の事業者に手厚い支援を施されたい。
- ・昨年度行われた防災行政無線の工事後から放送が聞こえない場所がある。緊急放送など重要な情報伝達手段であるので、市内全域で工事後の状況調査を行い、改修していただきたい。

#### 6) 下米田・牧野地区

- ・地域住民が災害に備えるため下米田・牧野地区のハザードマップの周知に図られたい。
- ・下米田小学校の通学路において、車の通る狭い道路があり、児童が安全に通学できるよう危険がないか点検していただきたい。
- ・県道野上～古井線には歩道がない箇所や水路に蓋がない箇所もあり、安全なための措置を施していただきたい。
- ・小山観音付近の川沿いにはフェンスが無い箇所や緊急車両が入ることができない狭い箇所があるので、河川敷の整備をされたい。